

平成26年度 各種資格取得試験の日程

試験種類区分	願書受付期間・試験日		試験種類	試験場所		
危険物 取扱者	第1回	受付期間	書面申請 4/30(水)~5/13(火) 電子申請 4/27(日)~5/10(土)	甲種 乙種 丙種	松江・出雲 大田・浜田 益田・隠岐	
		試験日	6月22日(日)			
	第2回	受付期間	書面申請 9/16(火)~9/30(火) 電子申請 9/13(土)~9/27(土)		出雲・浜田 隠岐	
		試験日	11月9日(日)			
	第3回	受付期間	書面申請 9/16(火)~9/30(火) 電子申請 9/13(土)~9/27(土)		松江・大田 益田	
		試験日	11月16日(日)			
	第4回	受付期間	書面申請 12/10(水)~12/24(水) 電子申請 12/7(日)~12/21(日)		乙種	松江・出雲 浜田・益田 隠岐
		試験日	平成27年2月8日(日)			
設備士	第1回	受付期間	書面申請 6/24(火)~7/8(火) 電子申請 6/21(土)~7/5(土)	甲種 乙種	松江・浜田	
		試験日	8月24日(日)			
	第2回	受付期間	書面申請 10/14(火)~10/28(火) 電子申請 10/11(土)~10/25(土)		松江	
		試験日	12月14日(日)			

ガソリン携行缶の取り扱いにご注意ください!

昨年夏に発生した福知山での痛ましい事故を受け、ガソリン携行缶の取り扱いについて注意喚起がなされています。次のことに留意して、安全に取り扱うようにしてください。

- ◎高温になる場所に保管しない
- ◎携行缶の蓋を開ける前に・・・
 - ・周囲の安全を確認する
 - ・対象機器のエンジン停止する
 - ・圧抜きキャップを開放する
- ◎ノズルは給油時にのみ装着し、使用後は確実に取り外すこと



編集後記

さまざまな流行語が毎年生まれています。なかでも「やられたらやりかえす、倍返しだ!」には、スカッとしたリムムツときたり、「見たか昨日?」と年甲斐もなく切り出したくて、少し億劫な月曜日の朝が楽しみになった方もいらしたのではないのでしょうか。そんな年の瀬、松江のとあるお寺ではこんな言葉が掲示されていたそうです。「やられたらやりかえす、倍返しだ!」 自助共助の想いを形にすべく、本年も邁進いたします。

事務局員一同



連絡先

出雲市防災安全協会 事務局
(出雲市消防本部内)

住所: 出雲市渡橋町 253 番地 1
電話: 0853-21-6922
E-mail: boukakyukai@izumo119.or.jp

出雲市
防災安全協会



会報

No.16

2014.2

【発行・事務局】
出雲市消防本部内



■平成25年度全国統一防火標語

ボランティア



一日体験学習



先進地視察



ごあいさつ



会長
新藤 正人

平成26年の新春を迎え、会員の皆様には謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。また平素より、当協会の運営につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、毎年恒例となっております、京都の清水寺で発表されるその年の世相を表す漢字に、2013年は『輪』が選ばれました。東京五輪の開催決定や富士山の世界遺産登録など人々の間に歓喜の輪が生まれたことが、その選ばれた理由でした。

しかしその歓喜の反面、全国各地で異常気象による多くの災害が発生しました。県内でも西部を中心に豪雨が襲い、濁流に運ばれた多量の土砂が、道と言わず家と言わず街を覆い、大勢の方が不自由な生活を強いられることとなりました。そうした中、たくさんの方がボランティアとして駆けつけ、夏の日差し照りつける中、片づけに汗を流されました。少しずつしかし確実に元に戻る街並みに、住民の方々はとても感謝されたことと思います。そして、そのような助け合いの輪が全国各地で生まれたこともまた、『輪』という漢字が選ばれた理由の一つではないでしょうか。一人ひとりの力は災害の前では小さなものです。しかしそんな小さな力でも、つなげば輪ができ、やがて大きな円となります。そしてそれは確実に前へ進む力となるはずで、その一助となるべく、当協会では引き続き、さまざまな場面で皆様の間に『輪』を作ることをこころがけてまいります。そしてそれが円となり、縁ともならんことを心より願ひまして、ごあいさつとさせていただきます。



ボランティア部会研修会に参加して

株式会社フクダ
福原 恭治



10月17、18日の二日間、大阪で行われたボランティア部員を対象とした研修会が開催されました。ボランティア部員4名、事務局1名の少人数での参加となりましたが、しっかりと研修し、見識を深めることができました。

1日目に向かった先は『津波・高潮ステーション』でした。

多くの水路があり、古くから水都と呼ばれていた大阪は、同時に

昔から津波や高潮により多くの被害を被ってきた街でもありました。それらの災害からいかにして街を守ってきたのか、そして来る南海地震に対してどのように備えるのかを、多くの映像資料に加え、施設職員さんによる解説からも学ぶことができました。



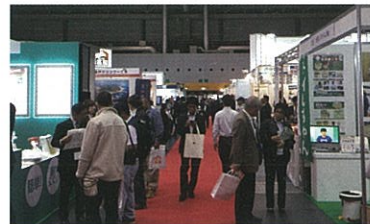
2日目はインテックス大阪にて行われた『防犯防災展』に参加しました。

会場には、企業や行政のブースが所狭しと並び、多くの人で混み合っていました。そこでは、それぞれ独自の視点から開発された防災機器が展示されており、珍しいものやなるほどと唸ってしまうものまで、興味が尽きることがありませんでした。



また会場の一角ではセミナーも開催されました。われわれも午前午後の計2回参加し、最新情報に触れる機会を得ました。中でも高知県の防災担当者によるセミナーは、南海地震対策に最も力を入れている県の一つということもあり、興味深く聞くことができました。行政と企業と住民が一体となって、来る地震の防災対策に取り組む姿勢には、今後見習うべきところが多くあり、実際に足を向けてみたいとも思いました。

また、わが社でも「B.C.P」(事業継続計画：地震等大規模災害対策版)に取り組んでおり、参考になる研修となりました。



1泊2日の忙しいスケジュールでしたが、その分内容も詰まっており、得るものの多い研修会となりました。企画していただいた事務局の皆様にご感謝するとともに、ぜひ今後もこのような機会を作っていただきたいと思います。

先進地視察



今年度の先進地視察は大阪にある二つの施設を訪問しました。

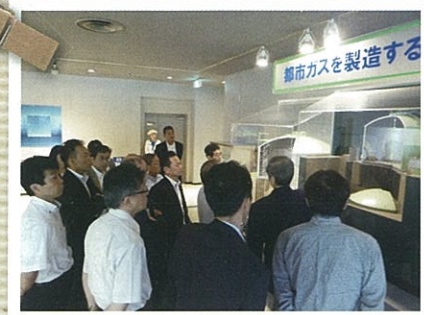
まず訪れたのは、天下の台所大阪のみならず、関西一円の生活を支える都市ガス工場に併設された『大阪ガス館』です。座学で都市ガスの仕組みを学び、バスによる見学で施設を視察し実際の製造現場を確認することができました。広大な敷地の中を縦横無尽にパイプラインが伸びる様は圧巻でした。



続いて訪れたのは、海外への玄関口『関西国際空港』です。こちら

もバスにより敷地内を視察しました。飛行機を間近に見られる場所もありましたが、本来立入禁止の保安エリアであるため、警備員の方の厳しい視線を受けながらの見学となりました。航空燃料の入った巨大なタンクがいくつも並び、厳重な保安体制で守られていると説明を受けると、先ほどの厳しい視線を思い出し、一同納得した次第であります。

台風の近づく関西はあいにくの天候でした。そんな中、研修のみならず、会員同士の親睦を深めることもできた先進地視察となりました。



定例表彰

6月11日、浜田市の『中国電力三隅発電所ふれあいホール』にて島根県危険物保安協会連合会の定例表彰式が行われました。当協会からは次の事業所及び個人の方々が表彰されました。受賞された皆様、おめでとうございます。

事業所の部

■株式会社 カリス湖陵 ■株式会社 中ノ島ニューシティプラザ

個人の部

■いずも農業協同組合 北部カントリーエレベーター 山本祐司様
■株式会社 今岡興産 佐田給油所 角森律雄様



ボランティア部会の活動

第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走大会の救護班

10月13日体育の日、日本三大大学駅伝のひとつ『第25回出雲全日本大学選抜駅伝競走大会』が開催されました。協会では救護班として、選手のサポートに臨みました。何もないのが一番でしたが、力を出し切ったランナーがゴール直後に倒れこむ場面もありました。幸い大事には至らず、救護班一同胸をなでおろしましたが、いざという時の備えを再認識しました。



幼年少年女性防火クラブ指導者研修会

11月17日、救急法の体得のため、幼年少年女性防火クラブ指導者研修会が消防本部にて開催されました。協会からは、応急手当普及員の資格をもつ救命ボランティア部員が参加しました。『教え方が丁寧でわかりやすい。』と参加されたクラブ員の方にも好評でした。



小さな消防士たちが大活躍!!



8月2日、真夏の太陽の下『夏休み消防1日体験学習』が開催されました。

訓練用の消火器を使った消火体験や、煙に包まれ視界のきかない建物を突破する煙体験など、さまざまな種目に、汗だくになりながらも元気いっぱい挑む姿が印象的でした。

今回の体験を生かして、地域を守る小さな芽が大きく育ってくれることを願います。

